

ロードレース・駅伝再開についてのガイダンス  
感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について  
＜競技役員・競技運営関係者＞

一般財団法人神奈川陸上競技協会

本協会主催競技会に関わる競技役員・競技運営関係者の方々は、つぎの事項を遵守して競技会に参加してください。

【競技会開催の前提条件】

1 緊急事態宣言の解除

神奈川警戒アラートが発令されていない。

(※発出していても①～④の条件であれば開催する。)

①移動制限の解除

②不要不急の外出自粛の解除

③店舗営業自粛の解除

④学校で部活動・対外競技会への参加が認められていること。(高校生 中学生)

2 競技会開催を神奈川県が認めていること。

3 県内において新型コロナウイルス感染症の診療体制が整っている緊急時の後方支援病院があること。

4 競技会に関わる全ての人(競技役員・競技運営関係者・競技者・チーム関係者等)は、各自つぎのように健康状態を整えて競技会に臨むこと。

・3密(密閉 密集 密接)を避けて行動する。

・体調(咳 鼻水 咽頭痛 下痢 味覚障害 嗅覚障害等の自覚症状)管理を徹底する。

・手洗い、手指の消毒、洗顔を徹底する。

・マスクを着用する。息苦しさを感じた場合は、マスクを外して、水分補給や休憩を取るなど無理をしない。

・開催1週間前からの体調報告と検温(朝夕1日2回)の義務。

・終了後、2週間以内に発熱等の症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告・相談しその後必ず神奈川陸協に報告する。

5 参加ランナー、チーム関係者・大会/競技役員・観客・メディア・大会運営関係者に感染者、濃厚接触者、感染の疑い者の参加・従事の可否

①感染者への対応

大会開催3週間前の時点、もしくはそれ以降にPCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合は、当該選手は参加を辞退するまたは、主催者により出場権利の取り消しを行う。

## ②濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合は、14 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状がでていない選手の出場を認めてもよい。

## ③感染疑い者への対応

大会開催3週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもある為、原則当該選手は参加を辞退するまたは、主催者による出場取り消しを行う。

- 6 日本陸連作成 「ロードレース再開についてのガイダンス」沿った競技会運営をする。
- 7 主催者は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

## 【競技役員・競技運営関係者対策】

- 1 競技役員・競技運営関係者は、大会1週間前から検温を義務付け、指定の「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」に記入し大会本部へ提出する。一般・大学生・クラブチームは代表者が提出すること。但し、中学生は中体連、高校生は高体連でそれぞれ指示された書類を提出すること。また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、保管すること。  
未提出者は、競技役員の参加や会場への入場はできない。
- 2 「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」は、県陸協HPからダウンロードすること。
- 3 主催者は、「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の個人情報の取り扱いには充分注意しながら1ヶ月保管し、適正かつ速やかに廃棄する。また、この個人情報を保健所、医療機関等の第三者へ提供する事がある。
- 4 不確かな競技役員・競技運営関係者がでた場合は、その場で検温を実施し状況によっては、競技役員や会場への入場を許可しないことがある。（担当：総務員・医務員）
- 5 主催者は、競技会当日、競技役員・競技運営関係者が発熱などの感染疑い症状がある場合は、競技会へ参加させない。（担当：総務員・医務員）
- 6 競技者は競技の時以外（招集中・移動中・待機中）は、マスクを必ず着用する。  
チーム関係者は常のマスクを着用すること。（担当：全員）
- 7 更衣室の使用は、短時間とし換気の徹底と一度の入場者数を制限し3密を防ぐ。担当係員をつける。（担当：総務員）
- 8 シャワールームは使用禁止する。（担当：競技部から使用施設管理者へ申し入れする。）
- 9 ソーシャルディスタンスを確保した会場設営と競技運営をする。（担当：関係各係）
  - ①参加者と競技運営関係者の動線をできる限り分ける。（担当：総務員 マーシャル）
  - ②密閉空間対策：諸室、更衣室、メディアルームなどの換気は徹底する。  
（担当：総務委員会・総務員）

③密集・密接場所対策：諸室、更衣室、招集所、スタート待機場所、給水給食所、トイレなどは、ソーシャルディスタンスが確保できる人数制限する。

(担当：総務委員会・総務員)

④競技役員は、最低必要人数で編成する。(担当：審判部)

⑤ウェーブスタートをすることがある。(同じ場所に15分以上滞留させないため。)

(担当：競技部・出発係・スターター)

⑥ウォーミングアップは、個別に行う。(担当：練習場係)

⑦密集回避のために競技者へ付き添いは禁止する。(担当：練習場係・マーシャル・出発係)

⑧接触を回避した給水所運営 (担当：給水所係)

- ・使い捨て手袋を使用する。
- ・手渡しの提供はしない。
- ・余裕を持ったテーブル配置をする。
- ・給水スポンジは使用しない。
- ・回し飲みはさせない。

⑨接触を回避した給食 (担当：競技部・給食係)

- ・提供物は、個梱包のものを必要最低限で提供する。
- ・参加者個々で補給のゼリーなどの持ち込みを推奨する。

⑩記録証やリザルトは、印刷せず極力オンラインで発行する。(担当：記録係・情報部)

⑪取材や表彰式を実施する場合は、3密を回避した形で実施する。

(担当：報道係・表彰係)

⑫駅伝競走では、競技者がゴール後にマスクが着用できるようにチーム内で荷物等の連携をとること。付き添いが選手の衣類・荷物等を扱う場合は、手袋を着用し、ビニール袋等で直接触れないようにすること。

## 10 医療体制

①医師、看護師等を常駐させ、常に相談できる体制を整える。(担当：審判部)

②个人防护具を準備する。(フェイスシールド、マスク、使い捨てマスク等)

(担当：総務委員会)

③レース中、フィニッシュ後に倒れたランナーのケアは防護体制を整えたスタッフが対応する。(担当：マーシャル・監察係・医務係)

④発熱者が出た場合の隔離室またはテントを確保する。(担当：医務係・用器具係・庶務)

## 11 トイレ (便座 ドアノブ 水洗レバーの清潔を保つ。)

(担当：競技部から施設管理者へ申し入れする。)

①感染防止の貼紙を貼付する。

②石けん、消毒液を常備する。

③仮設トイレに消毒液を設置する。

12 ゴミの廃棄 (担当：総務員・アナウンサー)

- ①施設内にゴミ箱は設置しない。
- ②ゴミは、各自必ず持ち帰るよう周知し、アナウンスする。(競技注意事項に記載する。)
- ③主催者は、マスクなどウイルスが付着している可能性のあるゴミを使い捨て手袋、トング等を使用しビニール袋に入れ密封して縛り廃棄する。
- ④飲み残しなどは主催者が適切に処理する。
- ⑤競技者は、衣服などは脱ぎ捨てないように周知し、アナウンスする。  
脱ぎ捨てられた衣服などは、主催者が直接触れず使い捨て手袋やトングなどで回収し廃棄する。

13 沿道の応援 (担当：総務員・走路員)

- ①沿道の応援の自粛を要請する。(担当：走路員・総務員)
- ②沿道で特に混雑が予想されるエリア対策 (担当：総務員・走路員)  
・応援自粛、ソーシャルディスタンス確保、ポスター掲示、警備員やスタッフ等による滞留禁止呼びかけ。
- ③沿道から応援しない。沿道からのハイタッチ、私設エイドを禁止する。

14 競技会終了後、参加者は新型コロナウイルス発症症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの神奈川県衛生部局に報告し、神奈川陸協に報告する。

(担当：総務委員会 医事部長)

15 大会終了後の報告事項 (担当：総務委員会)

- (1) 主催者は、所定の報告書を大会終了後一ヶ月以内に日本陸連にメールで提出する。
- (2) 提出書類
  - ①感染症予防対策マニュアル
  - ②参加した医療関係者数(医師 保健師 看護師)
  - ③参加者数・競技役員数
  - ④健康状態管理状況(レース1週間前、当日、競技会終了後2週間)
  - ⑤感染者発生状況(レース1週間前、当日、競技会終了後2週間)